

国保料 2年連続引き下げへ



市議会に国保料引き下げ案を提出する山田代表委員(中央右)ら。2015年11月26日、静岡市役所。同ひきした。国保料引き下げ案を提出する市民(静岡市西区、2015年11月12日)

静岡市(人口約70万人)の国民健康保険料(税)が2年連続で引き下げられます。粘り強い市民の運動と日本共産党市議会(5人)の奮闘が実ったものです。静岡県・内田伸治記者

静岡市

静岡市は今年度(2015年度)初めて国保料を1人あたり6067円、1世帯あたり1万2597円を引

き下げました。来年度も1人あたり6228円、1世帯あたり8866円引き下げることになりました。新日本婦人の会静岡支部の田中嶋直子さんは「ずっと引き下げの運動をしてきたことが実りよかったです。ヒラで国保料の連続引き下げが実現したことを知らせられるのはうれし



政令市3位の高額負担 市民運動でおしかえす



「収入が少ないのにこんな高額な保険料を払った生活していけない」と切実な声が寄せられていました。同市は12年度に17.5%もの値上げをおこない、政令市20市中トップ、14年度は3位の高額な国保料負担が市民を苦しめていました。署名集めのなかでも

「収入が少ないのにこんな高額な保険料を払った生活していけない」と切実な声が寄せられていました。同市は12年度に17.5%もの値上げをおこない、政令市20市中トップ、14年度は3位の高額な国保料負担が市民を苦しめていました。署名集めのなかでも

「収入が少ないのにこんな高額な保険料を払った生活していけない」と切実な声が寄せられていました。同市は12年度に17.5%もの値上げをおこない、政令市20市中トップ、14年度は3位の高額な国保料負担が市民を苦しめていました。署名集めのなかでも

い」と喜びます。引き下げの運動をしてきたのは「静岡医療と福祉をよくする会」と「清水・国保料を値下げさせる会」。10年以上前から毎年引き下げを求める署名を積み重ね、これまでに20万人以上の署名を市に提出しています。昨年11月議会にも引き下げを求めて、1万人超の署名を提出しま

は、私も含め、低い年金暮らしの人には切実な問題です。各委員は市民の声をしっかり聞いて、低所得者が安心して暮らせるようにしてほしい」

共産党の論戦

日本共産党静岡市議団は市民運動と手を結び、国保料引き下げに向け、奮闘してきました。市議会では基金などを活用すれば1人1万円以上の引き下げは十分可能だと、唯一国保引き下げの論戦を行ってきました。1月の国保運営協議会では、低所得者層の国保料負担の重さを市民代表の委員が陳述。公益代表委員の共産党市議も引き下げの必要性を繰り返し主張しました。このようななかで、議会では引き下げに反対した議員も

「安倍政権の悪政の防波堤となる自治体づくりへ、市民といっしょに力を尽くしたい。18年度には国保の財政運営が市から県に移されます。17年度は最大限の引き下げを実現させて、その流れを県単位化につなげてい